

浄水装置で地元貢献

浄水装置で地元貢献
彦根市と貸与協定

置を無償貸与し、避難場所などで必要給水に協力する。調印式は彦根市内の清水合金製作所本社で開かれ、和田猪丹市長、小田仁志代表取締役社長らが出席。終了後は隣接する工場の見学が行われた。

調印式であいさつした和田市長は、地震のみならず大雨による断水が全国で起きていることに触れ、「浄水装置による応急給水で市民の安心が一つ加わる」と顕意を示した。これに対し小田社長は、断水時や原水高濁時に装置を提供することが

彦根市と清水合金製作所は8日、「災害時における浄水装置による応急給水の協力に関する協定」を締結した。大規模災害の発生時に、同社に協力をすることを大変うれしく思っている。何

かあった時にはすぐに駆けつけ、何よりも重要な水の確保に貢献したい」と抱負を述べた。

彦根市からは和田市長のほか、橋本公志危機管理監、廣田進彦土木道部長らが出席した。小田

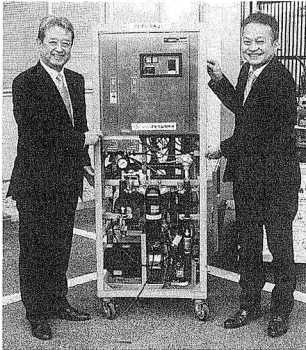
社長は協定に基づき無償貸与する緊急用浄水装置「アクアレスキュ」について、コンパクト・ムーバブルでありながら廣る過処理と塩素消毒を行える、二つの浄水場、だと説明。市側は「今後の

中山間地における水供給は大きな課題」との認識を示し、アクアレスキュを含めた浄水装置の素組や寒帯地での使用について意見を交わした。



バルブの組立工程を見学

その後の工場見学では、浄水装置のバリエーションや、多量少量生産とリドタイム短縮を可能にするバルブの加工・組立・塗装などの製造工程、営業活動用のキャンペーンカーを視察。和田市長は組立ラインなどに関心を持った様子だった。



和田市長(右)、小田社長